



大町市キャラクター
おおまびよん

／ お互いさまのまちづくり

第162号
平成25年2月1日

社協 おおまち



われら 年男 年女!!

市内にお住まいの今年“年男、年女”になられる皆さんに表紙を飾っていただきました。皆さんご協力ありがとうございました。

主な内容は

- ◆特集! 新春座談会…………… 2～3 ページ
- ◆市町村社協災害時相互応援協定締結… 4 ページ
- ◆あなたにインタビュー…………… 5 ページ
- ◆赤い羽根共同募金ご協力ありがとうございました… 6 ページ
- ◆心配ごと相談日程…………… 7 ページ
- ◆お知らせ 喫茶すまいるをご利用ください 他…………… 8 ページ



丸山 令江子さん



柳澤 英幸さん



三戸呂 三都子さん



宮澤 雄一さん



南澤 靖さん



西澤 清さん



住みよいまちの第一歩は好きになることから

■司会：西澤清さん／本日はお集まりいただきありがとうございます。

大町市がこんなまちになったらいいなと思う部分で皆さんのお話を伺いたい。

■三戸呂／大町市の人間でない私が、ここにきて感じたことは、山が綺麗で空気も水もおいしいこと。それと人口も3万人と、まとまるにはちょうどいい、すてきなまちだと思いました。不思議なのは、大町で出会った方のほとんどは私に『じつして、こんなところに来たの』と言います。

■司会／私も大町市は大好きなんですが、大町のことをよく思っていない人が多いよね。

～こんなまちにしたいな 私たちの住むところ～ 新春座談会

市民一人ひとりがつながりを強め、お互いに信頼関係を築くことがますます重要となっています。身近な地域で誰もが安心して暮らし続けるにはどうしたらいいのでしょうか。

いる皆さんにお集まりいただき、身めにはどうしたらいいのかを具体的に。



そこで、市内でさまざまな活動されて近な地域でより住みよいまちにするために語っていただき、座談会を開催します。

- 座談会参加者 (写真左から)
- 柳澤 英幸さん(十日町 十日会)
- 西澤 清さん(平地区社協 会長)
- 丸山令江子さん(大町民話の里づくり もんべの会)
- 南澤 靖さん(八坂地区民生児童委員協議会長)
- 宮澤 雄一さん(美麻地域づくり会議 会長)
- 三戸呂三都子さん(NPOみとろクリエイト 理事長)

活動団体も横のつながりを

■丸山／大町には、いろいろな団体があつて、さまざま活動をしている。しかし、何も活動していない人の方が多いと思う。第三者的に傍観しているのではなく、自分のできることをやってみようという市民性になれば、住みよいまちになるんじゃないでしょうか。

■柳澤／地域団体もそれぞれの活動だけでなく、横のつながりをもっていくことが必要。各団体が得意分野を出し合って活動していけばもっといい活動になる。

■司会／十日会のポン菓子や、子どもたちに大人気ですもんね。

■三戸呂／そうなんです。いいまちづくりには、まず、自分たちが住んでいるまちを好きになるようにしなくてはいいけない。

■丸山／私たちは、民話の語りを通して、地元の良いところを自然に勉強し、語れるようになってきました。

■宮澤／美麻では、学社融合といって、地元の学校へ地元の人間が講師となつて、地元のいいところを伝える活動をしています。『美麻のお宝発見』という授業では、美麻のいいところを子どもたち自身に発見していただく活動をしています。大人が安易に教えるのではなく、子ども自身の発見から自分の住んでいる所はいいところだなと感じてもらおうことを大事にしています。

団塊の世代の皆さん 出番です

■柳澤／呼ばれば、どこでも協力しますよ。

■丸山／横のつながりは大事ですよ。私たちの会は女性が中心だから、力仕事に苦手です。そんな時、十日会さんに手伝ってもらったり。また、私たちは、語りや漬物物を振舞ったりそれぞれ得意分野でできる事業はいろんな意味で、いいまちになる起点になりそうです。

■三戸呂／ボランティア活動を続けていくことは難しい。特に次世代へ引き継ぐことが難しい。

■柳澤／そうだね。世代間で意識が違うし、今の世代は人とのつながりを少し嫌

近隣で助け合える 仕組みづくりが必要



■南澤／地元の人、地元のよさを充分分かっていると思います。しかし、ここで住んでいく辛さも知っています。冬の厳しさなどもそうです。生活していくには、近くに病院も生活用品が購入できるスーパーもほしい。八坂地区では特に厳しい。

■三戸呂／最近では、高齢者世帯が、自宅を売却して、高層マンションに引越すことが増えていると聞きます。

■南澤／住みやすいまちとは、世代間でも違いが出てくるが、日常生活がカバーできる状態でない、住みづらいまちになってしまふ。

■宮澤／こんな田舎でも、集合住宅が必要なんですかね。

■三戸呂／介護サービスが充実してきたといわれても、まだまだ細かなニーズには対応できていない。例えば買い物もそうです。

■南澤／八坂地区では、生活圏が信州新町にある方もいる。公営バスで買い物に行く高齢者が多いが、市町村の境でバスの連絡がなく、1時間以上も待つ状況。

■司会／食料品も大変だが、草刈機や除雪機の燃料を買うにも大変。公営バスに燃料を持って乗ることはできないし、少量の燃料を運んでもらうのも気が引ける。

■南澤／だから、買い物先で、自宅まで宅急便を使っている人もいます。

■丸山／地域によっては、近隣で助けられる人もいます。

■三戸呂／ボランティアだと思ってもなかなか続かないですよ。やっぱり有償ボランティア制度をつくって、小地域で担い手を養成できればいいと思う。

■三戸呂／ええ。でも本当はそうではないと感じています。つながりもきつかけが世代間で違うだけのような気がします。

■司会／次世代の担い手で、団塊の世代が注目されていますよ。

■宮澤／先ほどの世代間の違いから難しい面もあるが地域のためにも、団塊世代の皆さんのためにも、同世代を中心とした組織づくりを啓蒙していく必要性を感じる。

■柳澤／既存の組織に入れたいとしても難しい。趣味の講座とかで、まずは仲間づくりをしてみよう。

■司会／「住みよいまち」それは、住んでいる人自身が好きになれるまち。そのための仕組みづくりや、活動団体相互の連携が必要だと感じました。本日はありがとうございました。

県内社協 災害時相互応援協定を締結!

近年、県内外で多くの災害が発生しています。災害が発生すると、被災地の社協では「災害ボランティアセンター」を立ち上げ、日本全国からのボランティアと被災住民のニーズとを結ぶ活動を行います。

これまでも、大規模災害などで被災地の社協だけでは対応が困難な場合には、全国各地の社協がお互いに協力して被災地の応援をしてきました。

今回、これまで社協間のネットワークで各種災害に対応してきた取り組みをより明確なものとし、長野県内社協が一体となって対応を図っていくための礎となる『災害時相互応援協定』を締結しました。



4 mを超える積雪。大北地域のボランティアや社協職員が除雪応援（昨年：小谷村 大網地区）



東日本大震災への災害ボランティア派遣（岩手県 山田町）

【目的】

長野県社協と市町村社協が協力し、被災地社協への支援を迅速に行うためのルールをつくり、社協のネットワークを生かした災害発生時の態勢整備の確立を図るものとする。

【主な応援内容】

- 災害救援活動に必要な職員の派遣
- 災害救援活動に必要な物品及び資器材の提供
- 災害救援活動を行うために必要な情報の収集
- 災害ボランティアセンターの運営支援
- 緊急的福祉サービスの調整及び提供
- 生活福祉資金特別貸付の業務支援 など

大田市社協における災害時の支援活動

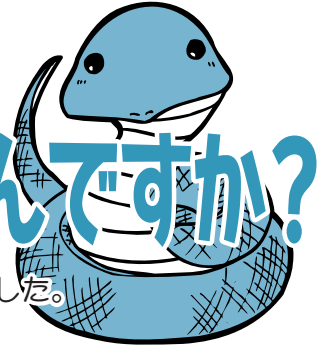
平成16年10月	新潟中越地震	救援物資の募集（長岡市へ搬送）※JC協力
平成23年3月	東日本大震災	救援物資の募集と搬送（岩手県釜石市へ搬送）
平成23年3月	長野県北部地震	への職員1名派遣（栄村）
平成23年5月	東日本大震災	への職員1名派遣（岩手県山田町）
平成23年7月	東日本大震災	への災害ボランティア36名派遣（岩手県山田町）※市、JC合同
平成23年10月	東日本大震災	への災害ボランティア24名派遣（岩手県山田町）※市、JC合同
平成24年2月	小谷村豪雪	災害へのボランティア及び職員延べ21名派遣（小谷村大網、中土地区）



あなたにインタビュー!!

今年チャレンジしたいことはなんですか?

表紙を飾っていただいた『年男、年女』の皆さんにお聞きしました。



●大町の自然を感じたい…



常盤下一
中島ひとみさん

何よりも健康が大事。早寝早起きを心がけ、健康的な生活と身体づくりを意識した1年にしたいです。

また、今まで大町に住んでいながら山よりも海が好きな自分でしたが、今年は山登りに挑戦し、近くにある自然の素晴らしさを感じたいと思います。

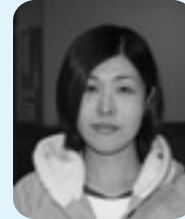
●野菜づくり 健康第一



美麻千見
西条 豊平さん

雪が消えたら、野菜づくりに励みたい。畑は土づくりが大事。毎年、木の葉などの堆肥を作って土づくりから丁寧にやっている。春に備えてCATVで野菜づくりの勉強をしている。大きな白菜が収穫できたときはとてもうれしい。また、地域でのゲートボールを引き続きやりたい。体を動かして健康に気をつけたい。

●趣味、健康そして家族旅行



平新郷
千田 知恵さん

趣味で、木やガラスなどに絵を描く「トールペイント」を習って2年になります。なかなか時間がなくて思うようにできませんでしたが、今年はもう少し自分の作品を増やしていける1年にしたい。

また、家族全員が健康で過ごして、家族旅行に行けたらいいなと思います。

●「挑」戦の年に…



高見町
北澤 恵一郎さん

新年を迎えるにあたり、年頭の一文字を「挑」としました。

まず、30回を数える「大町アルプスマラソン」に初回からスタッフとして関わってきましたが、還暦を迎えるにあたり、ランナーとして「挑」戦したいと思います。

次に、メタボになってきた身体を減酒、減量に「挑」戦し、改善したい。

●筆字にチャレンジ



八坂横瀬
小柳 文香さん

今年チャレンジしたいのは、字を書くことが好きなので、書道、ペン習字、写経など筆を使って書くことです。

他には、友達と各所に旅行へ行ったり、遊びに行きたい。

今年は、公私ともに去年以上に充実した1年にしたいと思います。

●日本一周にチャレンジ



社団法人
丸山 倫弘さん

車やバイクでドライブすることが好きで、毎年北海道1周をしています。まだまだ行きたい所もたくさんあるので、日本1周にチャレンジしてみたいです。

大きくはないですが田んぼをやっています。跡継ぎとして、農業をもっと手伝って、父親からいろいろ吸収したいと思っています。



平成24年度赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました。

昨年10月から12月末までの『平成24年度赤い羽根共同募金運動』は市民の皆様の善意とご協力により、無事終了することができました。

厳しい経済事情の中、快くご協力いただいた企業・商店の皆さんや、自治会を始め学校や職場、その他大勢の皆様にご協力いただき感謝とお礼を申し上げます。

また、街頭募金運動では、大町東小学校、南小学校の児童の皆さんに協力していただきました。ありがとうございました。



募金総額 **975万6千円** (9,756,439円)

ご協力いただいた募金額の約8割は
平成25年度大町市の地域福祉活動に活用されます。

平成25年度 地域福祉事業

※写真は平成24年実績写真です

大町地区地域 実践活動事業補助金

地区老人クラブ・子ども会が主催する交流事業等に対して、共同募金から補助金を交付しています。



『そば打ち交流会』
～桜田町こども会～

小地域福祉ネットワーク 活動助成金

市内41地区で活動している小地域福祉ネットワークの活動を共同募金から助成しています。



『もちつき三世代交流会』
～俵町ネットワークいつわ会～

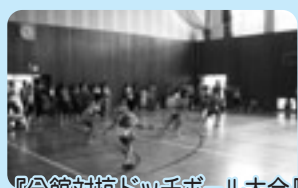
平地区施設めぐり事業

小中学生を対象に、地域文化伝承を目的に、施設めぐりをしています。



『美しい日本語の話し方講座』
劇団四季資料センター見学後、
現役俳優の講座を受けました。

常盤少年球技大会



『分館対抗ドッチボール大会』
ソフトバレー大会も
行われました。

社地区なかよし広場



『春に植えたさつまいも収穫』
やきいもにして食べました。

美麻ふれあいサロン への補助



ふれあいサロンの活動に
共同募金が活用されます。

八坂老人スポーツ大会



『背中に字を書く伝言ゲーム』
三世代一緒に楽しみました。

事前予約にご協力ください。 ☎22-1501 (大町市)

大北地域心配ごと相談日程 2月・3月

	時 間	相談内容	担当者	場所	開催者・連絡先		
2月	2月4日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談員	大町市総合福祉センター	大町市社協 ☎22-1501		
		13:00~15:00	司法書士相談			司法書士	
	2月18日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談員				
		13:00~15:00	司法書士相談			司法書士	
	2月25日(月)	15:00~17:00	法律相談 ※要予約			弁護士	
	2月25日(月)	13:00~15:00	心配ごと相談			心配ごと相談員	八坂支所
3月	2月12日(火) 2月26日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	心配ごと相談員	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62-9544	
							2月6日(水)
	3月4日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市総合福祉センター	大町市社協 ☎22-1501	
		13:00~15:00	司法書士相談	司法書士			
	3月11日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員			
		13:00~15:00	司法書士相談	司法書士			
	3月25日(月)	13:00~15:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	美麻総合福祉センター	美麻地域福祉センター ☎29-2341	
							3月12日(火) 3月26日(火)
	3月6日(水)	13:00~15:00	生活全般相談	民生児童委員	ゆうあい館	松川村社協 ☎62-9000	
			人権相談	人権擁護委員			
3月13日(水)	13:00~15:00	心配ごと相談	司法書士 人権擁護委員 民生児童委員	白馬村保健福祉 ふれあいセンター	白馬村社協 ☎72-5000		
3月13日(水)	13:30~16:00	心配ごと相談	司法書士 民生児童委員	小谷村開発 センター	小谷村社協 ☎82-2430		

◎お気軽にご相談ください。
このほか、【常設相談】土日
祝日を除き毎日受け付けて
います。 ☎22-1501

★電話相談 どんな悩みごともお気軽にどうぞ。

★日常生活自立支援 障がい者・高齢者の方で、ご自分で判断することが難しく、
日常生活や財産管理についてお困りの方。

★ボランティアセンター(社協内) ボランティアについての相談。

弁護士による法律相談と健康相談 ～くらしと健康の相談会～(無料)

弁護士による法律相談と、
保健師による健康相談を行います。

日 時 平成25年 3月4・11・18・25日
いずれも月曜日 10時~15時まで

申し込み 予約制ですので、事前にお電話で
お申し込みください。

会 場 大町市保健福祉事務所(大町合同庁舎内)

☎23-6526 大町市保健福祉事務所

定 員 各日 4人(相談時間は1人1時間程度)

開催日4日前まで予約を受付けます。

ふれあいの窓

【現金】

大町黒部ソフトボールクラブ… 36,000円、匿名…3,000円
大町市老人クラブ連合会…200,000円、匿名…3,270円
大町市食生活改善推進協議会…2,000円、匿名…1,678円

善意の寄附をありがとうございます H24. 11. 15~H25. 1. 15(敬称略)

【物品】

北澤 学 … 門松2ヶ
【使用済切手等】
匿名多数

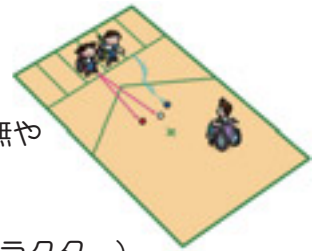
参加者募集!!

第19回

大町市ボランティアリーダー研修会

—障がい者スポーツ『ぼっちゃん』と地域で使えるレクリエーション講座—

- 期 日 平成25年3月8日(金) 9:00~12:00
- 場 所 大町公民館分室 2階講堂
- 内 容
 - ◆障がい者スポーツ『ぼっちゃん』をやってみよう
パラリンピックの正式種目になっている、障がいの有無や年齢に関係なく、どなたでも楽しめるスポーツです。
 - ◆地域で使えるレクリエーション講座
講師：種山正子さん(中信レクリエーション協会インストラクター)
簡単に楽しめるレクリエーションを教えてください。
- 持 ち 物 上履き
- 参 加 費 無料
- 申し込み 2月28日(木)までに 大町市社協(TEL22-1501)へ



おいしいお知らせ

～障害福祉サービス事業所より～

やきいも販売始めました

～3月まで販売します～

年末から寒い日が続いていますね。そんな寒い日に焼きたてのやきいもはいかがでしょう?

- 毎週水曜日 午前10時～午後3時
(完売次第終了となります)
- 100グラム 100円です!
- 大町市総合福祉センター南側ひまわり棟で販売しています。



おいしいコーヒーいかがですか

～喫茶すまいるより～

大町市総合福祉センターの会議室をご利用される方。あたたかいお飲み物はいかがでしょう。会議室まで出張サービスいたします。

- 営業日 (月)～(金) ※土日祝日を除く
午前9時～午後3時

●メニュー

コーヒー	} 各200円	緑茶	50円
紅茶		こぶ茶	} 各100円
ココア		梅こぶ茶	

- ご予約お問い合わせ
TEL22-4956

※ご相談に応じます。
事前にご予約ください。



「社協 おおまち」へのご意見、ご希望、投稿などみなさんの声をお寄せください。

〒398-0002 大町市大町1129 大町市総合福祉センター内

編集・発行；社会福祉法人 大町市社会福祉協議会 地域福祉係 TEL22-1501 FAX22-7071

URL <http://www.omachishakyo.org/> E-mail soumu@omachishakyo.or.jp